



unesco

Global Geopark



伊豆半島ジオパーク
IZU PENINSULA GEOPARK



伊豆半島ユネスコ世界ジオパーク

基本計画・行動計画

2021-2025

【資料編】

【資料編】

目次

1	基本計画策定のためのワークショップ概要およびアンケート結果……………	2
2	基本計画策定に関するパブリックコメントへの意見および推進協議会の回答……………	6
3	SDGs とは ……………	9
4	伊豆半島ジオパークにおける自然遺産リスト……………	10
5	伊豆半島ジオパークにおける文化遺産リスト……………	12

伊豆半島ジオパーク基本計画・行動計画の見直しに伴う オンラインワークショップの開催・アンケート結果について

伊豆半島ジオパーク推進協議会では基本計画・行動計画の見直しを行うため令和3年2月12日・15日・16日の3日間にわたってオンラインワークショップを開催しました。あわせてオンラインワークショップに参加できない方からも広く意見を聴取するため、テーマに応じたアンケートも2月末まで実施しました。

ワークショップ実施状況

テーマ	参加人数
○教育活動をどうしていくか（小・中向け教育）	11名
○教育活動をどうしていくか（社会人向け教育）	13名
○ツーリズムと地域振興をどうしていくか	19名
○人づくりと地域連携をどうしていくか	14名
○今後のジオパークをどうしていくか ジオパーク活動の関わり方について	17名

※ワークショップでは研究員より概要説明を行った後、4～5人の班に分かれてワークショップを実施。班ごとに意見をまとめ、全体で共有を計った。

基本計画・行動計画WS関連アンケート結果

回答数：14

(設問1) 教育活動(小・中向け教育)をどうしていくのか

地域のジオガイドが取り組んでいるので、継続して行ってほしい
ジオ教育を教職員に行い、学習活動を行えるようにしてほしい(4)
地域を核にして取り組んでもらいたい
行政を巻き込んだ展開を図る(3)
「少年の船・青年の船」などの伊豆半島をめぐる研修ツアーの開催
「地域を学ぶ場」としての活用・環境づくり(2)
共同による授業計画、授業で利用できる教材の作成と提供(2)
自分の地域に愛着がもてるようにしていく
地域学として植生・産業・歴史・伝統を教えるようにする
災害史もからめながら、防災教育を行う
発展途上国との教育交流
学校と地域社会の持続的連携モデルの創出

(設問2) 教育活動(社会人向け教育)をどうしていくのか

おもてなし講座など、参加する機会を増やしてほしい
これまで行ってきた事を継続して行ってほしい
分野別(「景観」「温泉」「食」「体験」など)の活動を展開(4)
地域にジオパーク活動をもっと知ってもらおう(2)
地域の団体に積極的に向かう
保護者向けの活動を考える
高齢者教育(社会教育?)への対応(2)
ZOOMの活用(オンラインツアーの造成)(2)
大人の修学旅行の開催
SNSでの情報発信
減災を踏まえて、土地利用の教育を行う
一緒に競い合ってアイデアを募る

(設問3) ツーリズムと地域振興をどうしていくのか

観光イベントの時にジオガイドツアーを開催しているので、継続していき
たい(2)
ツーリズムの隆盛が地域振興にあたる。後は宣伝に力を入れる

- ジオサイト、史跡等を活用していく
 - ジオガイドをもっと増やしていく
 - 特産品紹介を行い、販売を増やしていく（３）
 - 「修学旅行」が好評であれば県内外・国内外に広げていく（２）
 - 関係者が意識を高めていくことが必要
 - 活用していない地域で何が問題なのか掘り下げることが必要
 - 知識以上にガイドの人間性が重要
 - 体験活動ができるようなツーリズムの造成（２）
- ※コロナ収束後の観光資源の見直しを示唆される

（設問４）人づくりと地域連携をどうしていくのか

- 地域を巻き込んでいきたい（５）
- 人材育成とエリア間の情報共有。お互いを知ることが大事
- 地方創成戦略を基に展開したらどうか
- 地域の特産品を活用した展開を図る（２）
- 情報収集を行い、地域の誇るべきものを引き出していく
- 手伝いではなく、企画・運営を行い、やらされ感をなくしていく
- 地元の人々がジオパークを理解し、説明できることが必要（２）
- リタイアした教職員の「コーディネーター」化

（設問５）今後のジオパークをどうしていくのか

- 地元ジオサイトを保護し、教育や観光に役立てたい（２）
- 指摘された課題を丁寧にこなしていく
- ジオサイトを活用した展開を図る
- 住民・行政・ガイドで連携し取り組んでいくことが重要
- 若い人たちが稼げる活動にしなければならない（２）
- ガイドの質を上げる（２）
- 具体的な目標の設置（２）
- ジオリアを核としたビジターセンターの相互連携体制の構築
- 「伊豆半島」を知ってもらうことに力を入れる
- プロ（情報発信）と組むべき
- 興味を持った人が活動する時期は過ぎており、どのように活用できるのか検討すべき段階にはいつているのではないか
- 観光だけがジオパーク活動ではない
- スポンサーシップの開拓

(設問6) その他 (自由記載)

同じ目標に向かうには、気持の繋がり (信頼) と協働 (連携) が大切 (2)

新人ガイド教育の徹底 (ノウハウを丁寧に教える)

効果的な宣伝方法は何か

幅広い広報の充実

ターゲットを絞ったツアー内容にすべきかどうか

ガイド料の無料化。行政より必要経費を支出するシステムづくり

伊豆北部に「ジオリア」機能をもった拠点施設の建設

VCの底上げ

資料・教材・話し手などの環境を整え、地域にジオパークについての知識を浸透させていく

専門分野 (生物・地理学・防災など) に特化したジオガイドの育成

伊豆半島ジオパーク基本計画・行動計画（改定案）に関する意見募集の結果及び意見に対する協議会の考え方について

令和3年7月5日 伊豆半島ジオパーク推進協議会

意見募集の方法と結果について

募集期間	令和3年5月25日（火）から令和3年6月15日（火）
資料公開場所	伊豆半島ジオパーク推進協議会ホームページ
意見提出件数	9件
意見項目数	19項目

番号	計画法 該当ページ	いただいたご意見・ご提案	基本計画等への反映等についての考え方
1	1) 23 ページ 本文	北伊豆地震の発生年は1930年です。	・1930年（昭和5年）に修正します。
	2) 28 ページ 図4-1	「ジオパークが目指す姿のイメージ図」がやや分かりにくい。	・P44のイメージ図は伊豆地域の住民をはじめ、みんなでジオパーク活動に取り組むことを可視化し概念的に示しました。表記は可能な限り統一します。
	3) 30 ページ 本文	会員とは、何を指すか明記してほしい。	・会員や団体等 と修正します。
	4) 38 ページ 本文	ジオガイドの皆さんとは、認定ジオガイドに限定しているのですか？	・認定ジオガイドや準ジオガイドの皆さん に修正します。
	5) 40 ページ 行動計画	行動計画表のジオツアーの実施と環境省エコツーリズム推進基本構想に基づく事業の2025年度の数値目標について、観光入込人口を考慮した数値にすべきではないか？意欲は判るが数値が高すぎはしないか	・ご指摘のとおり、美しい伊豆創造センターが目標とする観光入込数との整合性を持たせ、目標設定数値を見直します。
	6) 52 ページ 本文	応援会員制度を実質的パートナーとしての位置付けるとあるが、パートナーシップ協定と会員とどこが違うのかが不明です。 他のジオパークでも、実施しており趣旨はわかりますが、できるだけわかりやすい表記にしてほしい。	・会員団体は、所定の会費を納めていただき総会での議決権をもちますが、応援会員はジオパーク活動を応援し様々な活動してくれる方々と位置付けています。
2	1) 41 ページ ～43 ページ 全般	<p>1) 狩野川台風を教訓とした防災のとりくみ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昭和33年9月26日夜、伊豆半島の東岸を北上した狩野川台風は、上流部に記録的な豪雨（湯ヶ島・最大時間雨量120mm、総雨量740mm）を降らせ、上流山地で土砂崩れがおきた。 ・流木を含んだ洪水は修善寺橋と修善寺中学を流し、大仁橋付近で水晶山に当たり熊坂方面に向かって大きな被害を与えた。 ・270人の尊い命が亡くなり、熊坂では2度と繰り返さないことが悲願です。（復興） ・狩野川は、大仁橋付近では洪水が水晶山に当たらないように狩野川の線形を変更し、川幅を2倍にして堤防を高くして、その上に国道136号を整備した。 ・熊坂の集落は、土地改良事業を実施し、集落は狩野川から離れた山裾に、狩野川の近くは水田地帯とした。（最近の動き） ・伊豆市は人口の増加を図るため、都市計画を変更して建築の制限を緩和して、狩野川近くでも今後、建築が行われるようになった。 ・また、近年の異常気象による全国各地で被害が起り、国は「流域治水」の考えで取り組むこととした。（地域での防災のとりくみ） ・熊坂小学区地域づくり協議会は、「狩野川台風60年」を開催し、国と伊豆市と意見交換を行い、その内容は、以下のとおり、伊豆市の都市計画マスタープランに計画され、近く公表の予定。 ・「市、河川管理者、地域の協働により、国道136号沿道の都市的土地利用に対する防災性向上策の検討、洪水浸水想定区域における農地の保全と宅地化に対する水害対策の促進など、狩野川の防災性強化と沿川まちづくりを推進します。」 ・これに基づいて国道沿道の施設や農地の地権者と話し合いを進めることから始めます。 上記の計画への反映をお願いします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特に災害サイト等を活用した減災の取り組みは重要であると認識しています ご指摘をいただきました伊豆市内の取組事例は、狩野川のみならず伊豆半島の全域の河川で取り組むべき課題であると認識しておりますので、基本方針に反映させつつ、減災のための取り組みを行ってまいります。 ・今後も想定される河川氾濫等の災害から地域住民を守るため、沿岸部の津波対策等も含め、行動計画の災害サイトを活用した防災学習の推進の資料として活用させていただきます。

番号	計画案 該当ページ	いただいたご意見・ご提案	基本計画等への反映等についての考え方
3	活動全体の 提案	<p>「イズ・キャン△」 今、話題の漫画・アニメで「ゆるキャン△」は、山梨県身延町の女子高生のゆる〜いキャンプを楽しむ話ですが、かなりリアルで面白いと思います。キャンプ地が伊豆半島の回では、ただ伊豆の味や温泉を巡るだけではなく、伊豆のジオサイトをできるだけ見ようという目的も加えていました。感心です。家の近くには逢ヶ浜の放射線管理や竜宮窟がありますが、近くでおすすめのキャンプ場と聞かれると自信がありません。ジオサイトを巡って自然の中でキャンプを楽しめるのは、伊豆の大きな魅力だと思います。</p> <p>さらに、キャンピングやシーカヤック、SUPのガイドツアーに参加すると満足度は高くなります。</p> <p>ジオサイト、キャンプ場、アクティビティ・ツアーを一体化したフリーペーパーをアウトドア用品店に置いたらどうでしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アニメ「ゆるキャン△」では、伊豆半島ジオパークの代表的なサイト（見どころ）として「ジオポイント」として豊かな自然環境として魅力的に紹介されています。ご提案をいただきましたジオサイトとアウトドアアクティビティとの連携による情報発信についても、現在海洋資源を活用したレジャー事業者との連携による取り組みのスキーム作りに取り組んでおりますので、ホームページ等の情報発信により充実してまいりたいと考えています。
4	活動全体の 提案	<p>メガソーラー問題への対応 今、函南町軽井沢では東京ドーム13個分のメガソーラー計画があります。近くにはジオサイトである丹那断層公園、火雷神社があり、もしメガソーラーができたら丹那断層公園からメガソーラーが見え景観に問題があります。広大な森林が伐採されれば土砂崩れの心配があり火雷神社や丹那断層公園に被害が及ぶのがとても心配です。丹那の自然と命、このジオパークを守るために住民はメガソーラーを建てられないように一生懸命働きかけをしています。</p> <p>伊東市でもメガソーラー問題があります。伊豆半島の自然やジオパークを守るためにも伊豆半島ジオパーク推進協議会様もメガソーラーが建てられないように県や町、事業者働きかけをしてください。よろしくお願ひします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・伊豆半島でメガソーラー計画が相次ぎ浮上しており、伊豆半島ジオパーク推進協議会としても、保全すべき大切な景観を「眺望サイト」と位置づけ、景観保全は次世代に残すべき大切な財産であるとの認識です。地球環境規模での環境問題が叫ばれる中、自然エネルギー政策に反対するものではありませんが、あえて世界に誇れる貴重な景観遺産を阻害する計画については、景観に配慮した計画とするよう地元市町とも連携し取り組みたいと考えております。
5	活動全体の 提案	<p>人気童話とのコラボによるジオパークの情報発信について 人気童話「クレヨン王国」のモチーフに伊豆半島のジオサイトが取り入れられている。コラボして何かやりたい。提案者は作者の家族からのご提案。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・興味深い提案だと考えています。「クレヨン王国」の内容を把握させていただいたうえで、どのようなことができるかを検討したいと思います。 新聞等の報道では、熱海市との連携のお話も承知しておりますので、熱海市域外にもかかわる広域で支援できる形を模索できればと考えております。
6	活動全体の 提案	<p>自然が残された天城山麓など、林道トレッキングを開発したらどうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自然の保全と活用はジオパーク活動の柱です。林道の利用には伊豆森林管理署等の山林所有者、林道受益者の理解はもとより地域や構成市町のサポートが必須です。当面は、天城山に最も詳しい天城自然ガイドクラブに提案資料を見てもらい、自然保護への配慮や天城山麓を所有する森林管理署の了解を得ることが重要と考えております。
7	1) 15 ページ 本文 2) 23 ページ 本文	<p>表記では、江川英龍が大砲製造を試みたが試験だけで終わってしまった印象を持ってしまいが、葦山反射炉の完成は、江川英龍死去後であるため、下記に修正願ひたい。 「江戸時代末期に大砲製造が行われ、現在もほぼ完全な形で残る・・・」</p> <p>「世界遺産」の表記を以下の正確な表現に修正願ひたい。 ・世界遺産「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」構成資産：葦山反射炉 ・世界遺産に認定され・とあるが、世界遺産の場合は、「登録」が一般的に使用されていますので、登録表記に修正願ひます。 ・伊豆半島ユネスコ世界ジオパークの文化サイトに指定の記述を下記に修正願ひます。 「葦山反射炉は、2015年（平成27年）に世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」の構成資産として世界遺産に登録され、2020年（令和2年）には、伊豆半島ジオパーク推進協議会が伊豆半島ユネスコ世界ジオパークの文化サイトに指定しました。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・世界文化遺産については、伊豆の国市の文化財課所管の施設ですので、ご指摘のとおり正確な表記に修正いたします。 ・世界文化遺産については、伊豆の国市の文化財課所管の施設ですので、ご指摘のとおり正確な表記に修正いたします。
7	3) 53 ページ 行動計画 表	<p>3)「葦山反射炉」との相互連携協定の締結と協定に基づく事業について ・企画展に関する表現の統一をお願いします。また、企画展の実回数重要ではないかと思うので回数表記は不要と思います。</p> <p>保全活動、啓発活動、教育活動を順番に行うとあるがこれでは各年度において注力していく事業を出していると思われる。</p> <p>協定の目的は継続した取り組みであることから、表現としては、保全・啓発・教育に係る連携活動として記載し、2022年からの実施が適切ではないかと思ひます。</p> <p>・反射炉来館者数増を数値目標としているが、表記ではいつの時点と比較しての増かがわからない。また、各年度に記載の事業を実施したとしても、それが来館者数の増につながるか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・行動計画については、ご指摘を踏まえ、相互連携協定の内容、伊豆の国市の総合計画を踏まえ、双方協議し実施可能な内容を盛り込むこととします。 ・行動計画の個別表記及び実施年度についても協議の上見直すこととします ・行動計画の数値目標につきましては、目標設定と併せて伊豆の国市の定める上位計画及び関連計画等と整合性が取れるよう内容を見直します。 ・連携協定による事業も継続性が重要ですので、ご指摘のとおり修正をします。

		も不明です。 このため、数値目標の設定としては、連携事業の数を目標としてはどうかと思う。葦山反射炉来館者数は目に見える数値として好指標かもしれないが、目標設定の本質からすると来館者数より適切であると考えます。	
8	1) 37 ページ 行動計画	1) ジオ学習の行動計画について ・当協会は、域内の小中学校や特別支援学校から直接依頼を受けて出前講座（ジオ学習）を年間5～10回実施しています。教育活動の実施主体には”ジオパーク推進協議会”がありますが、その協議会の会員の当協会が各学校から直接依頼を受けて認定ジオガイドが行っている出前講座も教育活動と位置づけしてほしいと思います。 例年の事業報告ではジオパーク推進協議会に依頼のあったものだけが対象で、各学校から直接依頼を受けたものは対象外とされています。域内でジオ学習を広めるためには、推進協だけでは限界があるので、その会員が行う教育活動も対象にしてほしいと思います。 なお、認定ジオガイドが行う出前講座に限るのが条件になると思います。また、同じジオパーク推進協議会会員の”伊豆半島ジオガイド協会”は実施主体と特別に名前が記載されていますが、名前の記載がない他の会員も平等に実施主体と考えていただきたい。	・ご指摘のとおり、ジオパークの教育活動は、ジオガイド協会のみでの活動ではありません。 認定ジオガイドや準ジオガイドの皆さんによる各学校や地域での取り組みもジオ活動の重要な活動であると考えています。 広域なエリア内でのジオ学習の普及にはジオパーク推進協議会では限界がありますので教育活動の行動計画の実施主体に「ジオガイドの皆さん」を加えます。 ・また、認定ジオガイドや準ジオガイドの皆さんが各地区で独自に取り組んでいる出前講座も教育活動の事業として位置づけ、今後活動報告として反映させます。
9	1) 12 ページ 本文	“この天城山の山稜部のヒメシヤラやブナの森は国立公園の特別保護地区に指定されています。” の表記ですがブナを主体とした森であることから、「ブナやヒメシヤラの森は」或いは、「ブナ林は、ブナの森は」の方が良いと思います。 “水期後の気温上昇によって標高 1000m前後の天城山や函南の森に追いやられ、…” とありますが、ブナがみられるのは、函南原生林では標高 650m以上、天城山では標高 700m以上です。	・数値等や確認のご指摘のあった内容につきましては、再度確認し正しい数値及び表記等に修正をいたします。 ・標記の内容につきましても、いずれも代表的なサイトについての記述へのご指摘ですので、伊豆半島ジオパークの魅力をわかりやすく理解していただける記述に見直すこととします。
	2) 24 ページ 本文	“この水は清廉でかつ 15℃前後の一定の温度であることが求められます。” とありますが、水温 13℃前後と聞いていますので確認願います。	・数値等や確認のご指摘のあった内容につきましては、再度確認し正しい数値及び表記等に修正をいたします。
	3) 25 ページ 本文	“おおよそ標高 1000m以上にみられる。…” とありますが、天城山ではおおよそ 700m以上に見られます。 “ブナのほかに、ヒメシヤラやアマギシヤクナゲも自生しています。” の表記ですが、「ブナのほかに、アマギシヤクナゲやアマギツツジも自生しています。」の方が良いのではないのでしょうか。アマギシヤクナゲとアマギツツジは天城を代表する花木であり、天城山だけでみられる固有種です。 “林野庁のブナ群落保護林にも指定されています。” とありますが、現在は「八丁池・皮子平生物群集保護林（636.75ha）」に改編されています。 範囲は八丁池一帯から小岳までの山稜部です。	・標記の内容につきましても、いずれも代表的なサイトについての記述へのご指摘ですので、伊豆半島ジオパークの魅力をわかりやすく理解していただける記述に見直すこととします。
	4) 25 ページ 図 3-9	写真の中で愛鷹山の右側に丹沢山地と記載されていますが、三国山稜と言われている所だと思います。丹沢山地は、箱根連山の後方になるのではないのでしょうか。確認をお願いします。	

SDGs とは



1960年代から先進諸国においては大量生産、大量消費による経済成長が拡大していきます。1992年にリオ・デ・ジャネイロで環境と開発に関する国連会議（地球サミット）が開催され、持続可能な開発を実現するための行動原則である「リオ宣言」が採択され、「持続可能な開発」という概念が普及し、国連を中心に世界的な議論が進められてきました。こうした中で、貧困と飢餓の撲滅、環境の持続可能性の確保などの8つの目標から構成される2015年までの共通目標「ミレニアム開発目標（MDGs）」が2000年に国連で採択されました。加えて2012年にリオ・デ・ジャネイロでの成果文書「われわれが望む未来（リオ+20）」でポスト2015年の開発アジェンダが打ち出され、これによって2015年国連サミットにおいて「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択されました。先進国と途上国が取り組むべき国際社会全体の普遍的な目標として2030年のあるべき姿を示したものです。この2030アジェンダの基本は「誰一人取り残さない」という概念であって、これを分野別の目標としてまとめたものが「持続可能な開発目標（SDGs）」です。2030アジェンダの中核をなすものです。

持続可能な開発目標（SDGs）は、17のゴール、169のターゲットで構成され、環境、経済、社会の諸課題を包括的に扱う構造になっています。「ゴール」とは重要項目ごとの到達先を示した地球規模レベルでの目標で、一方「ターゲット」とはゴールでの目標を踏まえながら達成時期や数値を含むより具体的な到達点や経過点を示したものです。各ゴールのターゲットは概ね10項目程度が提示され、その達成の具体的指標も示されています。既に示したとおりSDGsは先進国、途上国がともに取り組むべき普遍的目標を示したものです。しかし、少子高齢化や生産年齢人口の急減などが国や伊豆半島を取り巻く社会状況に対応してSDGsを取り入れて未来を構想し、行動することで、持続可能な地域社会を構築する取り組みが求められているのです。



持続可能な開発目標（SDGs）が提示する17のゴール

伊豆半島ジオパークにおける自然遺産リスト(1. 生態)

国立公園指定による保護対象遺産

国立公園特別保護地区	所在地
1 万二郎岳・万三郎岳の山稜	伊豆市・東伊豆町
2 八丁池	伊豆市

天然記念物指定による生態遺産リスト

国による指定

天然記念物の名称	所在地
1 大瀬崎のビャクシン樹林	沼津市
2 来宮神社(阿豆佐和気神社)の大クス	熱海市
3 三島神社のキンモクセイ	三島市
4 葛見神社の大クス	伊東市
5 八幡野八幡宮・来宮神社社叢	伊東市
6 蓮着寺のヤマモモ	伊東市
7 八幡神社のイスノキ	下田市
8 伊古奈比咩命神社のアオギリ自生地	下田市
9 新町の大ソテツ	河津町
10 杉梓別命神社の大クス	河津町
11 ナチシダ自生北限地	河津町

県による指定

天然記念物の名称	所在地
1 岡宮浅間神社のクス	沼津市
2 御浜岬のイヌマキ群生地	沼津市
3 河内(こうち)の大スギ	沼津市
4 熱海のナツメヤシ	熱海市
5 御嶽神社の親子モッコク	三島市
6 天照皇太神社社叢	伊東市
7 林泉寺のフジ	伊東市
8 比波預天神社のホルトノキ	伊東市
9 田牛ハマオモト自生地	下田市
10 白浜神社のビャクシン樹林	下田市
11 報本寺のオガタモノキ	下田市
12 青埴神社の枝垂イロハカエデ	伊豆市
13 天城の太郎スギ	伊豆市
14 安楽寺のクス	伊豆市
15 修禅寺の桂	伊豆市
16 浄連のハイコモチシダ群落	伊豆市
17 田沢のイヌマキ	伊豆市
18 日枝神社のイチイカシ	伊豆市
19 法泉寺のシダレザクラ	伊豆市
20 益山寺の大もみじ	伊豆市
21 済広寺のカヤ	東伊豆町
22 シラスタの池とその周辺の生物相	東伊豆町
23 細野湿原	東伊豆町
24 子浦のウバメガシ群落	南伊豆町
25 白鳥神社のビャクシン	南伊豆町
26 三島神社のクスノキ二本	南伊豆町
27 松崎伊奈下神社の公孫樹	松崎町
28 永明寺のイチョウ	西伊豆町
29 天地神社の樟	函南町
30 春日神社の樟	函南町
31 ミシマバイカモ	清水町
32 下土狩のイチョウ	長泉町

天然記念物指定による生態遺産リスト

市町による指定

天然記念物の名称	所在地
1 久連神社社叢	沼津市
2 赤野観音堂のカヤ	沼津市
3 河内の稲荷スギ	沼津市
4 部田神社のコブ付大クス	沼津市
5 今宮神社社叢	熱海市
6 伊豆山のバクチノキ	熱海市
7 湯前神社のクスノキ	熱海市
8 和田木のフジ	熱海市
9 下多賀神社社叢	熱海市
10 土沢のオオムラサキ	熱海市
11 神明宮神社 社叢	三島市
12 中のカシワ	三島市
13 願成寺 クス	三島市
14 耳石神社 イタジイ	三島市
15 三嶋大社 社叢	三島市
16 矢立の杉	三島市
17 ヒメユズリハ群落	伊東市
18 音無神社のタブの木	伊東市
19 最誓寺のソテツ	伊東市
20 山神社のムクの木(群落)	伊東市
21 伊吹ビャクシン	伊東市
22 高見のシイの木	伊東市
23 音無神社のシイの木	伊東市
24 城ヶ崎海岸燕島のアマツバメ集団生息地	伊東市
25 はまぼう樹林	下田市
26 大公孫樹	下田市
27 枝垂桜	下田市
28 山ざくら	下田市
29 しもだまいまい	下田市
30 爪木崎-俵磯海岸(イソギク群落)	下田市
31 ヒカリモ	下田市
32 益山寺の大イチョウ	伊豆市
33 大宮神社の社叢	伊豆市
34 白山神社の大楠	伊豆市
35 八幡(はつま)来宮神社の鳥居杉	伊豆市
36 茅野のエドヒガンザクラ	伊豆市
37 八幡神社のカゴノキとシロダモ	伊豆市
38 神代杉	伊豆市
39 妙泉寺の大イチョウ	伊豆市
40 大城家のカヤ	伊豆市
41 妙国寺のカヤ	伊豆市
42 山門脇応永のイヌマキ	伊豆市
43 お宮のシイ	伊豆市
44 地藏ヶ平のスタジイ	伊豆市
45 横ヶ坂の松	東伊豆町
46 山田大家の松	東伊豆町
47 鳳凰の松	東伊豆町
48 シダレザクラ	東伊豆町
49 シラスタ大杉	東伊豆町
50 ホルトの木	東伊豆町
51 サラサドウダンツツジの群落	東伊豆町
52 河津桜の原木	河津町
53 巨鯛島のウバメガシ群落	松崎町
54 国柱命神社のクスノキ	松崎町
55 八幡神社のケヤキ	松崎町
56 中・神明神社のナギ	西伊豆町
57 宮ヶ原・天神社のスタジイ	西伊豆町
58 白川宮下の大ツバキ	西伊豆町
59 うばめがし・はまぼう樹林	西伊豆町
60 神田神社の榎	西伊豆町
61 火雷神社の社叢	函南町
62 智方神社のクスノキ	清水町
63 徳倉のカゴノキ	清水町

伊豆半島ジオパークにおける自然遺産リスト(2. 地学)

天然記念物指定による地学遺産リスト 国による指定

天然記念物の名称	所在地
1 楽寿園	三島市
2 大室山	伊東市
3 地震動の擦痕	伊豆の国市
4 手石の弥陀ノ岩屋	南伊豆町
5 堂ヶ島天窓洞	西伊豆町
6 丹那断層	函南町
7 柿田川	清水町

県による指定

天然記念物の名称	所在地
1 偽層理	下田市
2 爪木崎の柱状節理	下田市
3 下白岩のレピドサイクリナ化石産地	伊豆市
4 鮎壺の滝	沼津市・長泉町
5 瀬浜海岸のトンボロ	西伊豆町
6 黄金崎のプロピライト	西伊豆町

市町による指定

天然記念物の名称	所在地
1 愛染院跡の溶岩塚	三島市
2 鏡池横臥溶岩樹型	三島市
3 かのん浜ポットホール	伊東市
4 大室山スコリアラフト	伊東市
5 タライ岬-釜の浦海岸	下田市
6 火雷神社の断層	函南町

名勝指定による地学遺産リスト 国による指定

天然記念物の名称	所在地
1 楽寿園	三島市
2 伊豆西南海岸	松崎町、西伊豆町、 南伊豆町

伊豆半島ジオパークにおける文化遺産リスト

文化財指定による文化遺産リスト

国による指定

種別	文化財の名称・員数等	所在地
1 重要文化財・建造物	松城家住宅 7棟	沼津市
2 重要文化財・典籍	宝物集巻第1 1巻 附原表紙1幅	沼津市
3 重要有形民俗文化財	沼津内浦・静浦及び周辺地域の漁撈用具 2,539点	沼津市
4 史跡	休場遺跡	沼津市
5 史跡	長浜城跡	沼津市
6 史跡	興国寺城跡	沼津市
7 名勝	旧沼津御用邸苑地	沼津市
8 国宝・絵画	絹本着色二美人図〈葛飾北斎筆〉1幅	熱海市
9 国宝・絵画	紙本金地著色紅白梅図〈尾形光琳筆／二曲屏風〉1双	熱海市
10 国宝・工芸	色絵藤花文茶壺〈仁清作〉1口	熱海市
11 国宝・書跡	方広寺大仏鐘銘〈清韓筆〉1幅	熱海市
12 国宝・書跡	金光明最勝王経註釈断簡〈巻第二、第六／飯室切〉1巻	熱海市
13 国宝・書跡	兀庵普寧墨蹟〈尺牘／咸淳壬申春〉1幅	熱海市
14 国宝・書跡	手鑑「翰墨城」〈三百十葉〉1帖	熱海市
15 重要文化財・建造物	旧日向家熱海別邸地下室 1棟	熱海市
16 国宝・絵画	紙本白描星曼荼羅図残闕 1冊	熱海市
17 国宝・絵画	紙本白描曼荼羅集 3冊	熱海市
18 国宝・絵画	紙本墨画九曜星図像 1巻	熱海市
19 国宝・絵画	紙本墨画諸尊図像 2巻	熱海市
20 国宝・絵画	紙本墨画伝法正宗定祖図 1巻	熱海市
21 国宝・絵画	紙本着色岩佐勝以像 附書状、家系図 1幅	熱海市
22 国宝・絵画	紙本着色浄瑠璃絵 12巻	熱海市
23 国宝・絵画	紙本着色仁王経法図像 1巻	熱海市
24 国宝・絵画	紙本着色山中常盤絵 12巻	熱海市
25 国宝・絵画	紙本着色湯女図 1幅	熱海市
26 国宝・絵画	紙本淡彩四季山水図〈海北友松筆／八曲屏風〉1双	熱海市
27 国宝・絵画	紙本着色絵因果経断簡〈巻第四上／八十四行〉1巻	熱海市
28 国宝・絵画	紙本着色三十六歌仙切〈兼盛〉／佐竹家伝来〉1幅	熱海市
29 国宝・絵画	紙本着色樹下美人図〈伝トルファン出〉1面	熱海市
30 国宝・絵画	紙本着色花見鷹狩図〈六曲屏風〉1双	熱海市
31 国宝・絵画	紙本着色陽人奏楽団〈六曲屏風〉1双	熱海市
32 国宝・絵画	紙本着色源重之像〈上置本三十六歌仙切〉1幅	熱海市
33 国宝・絵画	紙本墨画山水図〈海北友松筆／六曲屏風〉1双	熱海市
34 国宝・絵画	紙本墨画淡彩白衣観音図〈明兆筆〉1幅	熱海市
35 国宝・絵画	紙本墨画入磨貫之図〈岩佐勝以筆／自賛がある〉2幅	熱海市
36 国宝・絵画	紙本墨画太元師明王図像 1巻	熱海市
37 国宝・絵画	紙本墨画布袋図〈黙庵筆〉1幅	熱海市
38 国宝・絵画	絹本着色吉祥天曼荼羅図 1幅	熱海市
39 国宝・絵画	絹本着色釈迦八相図 4幅	熱海市
40 国宝・絵画	絹本着色雪月花園〈勝川春章筆〉3幅	熱海市
41 国宝・絵画	絹本着色風俗十二月〈勝川春章筆〉附詩歌聯幅 10幅	熱海市
42 国宝・絵画	絹本墨画山水図〈伝馬遠筆〉1幅	熱海市
43 国宝・絵画	絹本淡彩高士観月図 1幅	熱海市
44 国宝・絵画	絹本着色阿弥陀三尊像 1幅	熱海市
45 国宝・絵画	絹本着色愛染明王像 1幅	熱海市
46 国宝・絵画	絹本着色寒江独釣図 1幅	熱海市
47 国宝・絵画	絹本着色童子経曼荼羅図 1幅	熱海市
48 国宝・絵画	絹本着色八字文殊菩薩及八大童子像 1幅	熱海市
49 国宝・絵画	絹本着色不動明王二童子像 1幅	熱海市
50 重要文化財・彫刻	銅造観音菩薩立像 1軀	熱海市
51 重要文化財・彫刻	木造阿弥陀如来及両脇侍坐像 3軀	熱海市
52 重要文化財・彫刻	木造阿弥陀如来立像 1軀	熱海市
53 重要文化財・彫刻	木造聖観音立像 1軀	熱海市
54 重要文化財・彫刻	木造多聞天眷属立像 1軀	熱海市
55 重要文化財・彫刻	木造男神立像 1軀	熱海市
56 重要文化財・彫刻	木造十一面観音立像 1軀	熱海市
57 重要文化財・工芸品	黒漆螺鈿礼盤 1基	熱海市
58 重要文化財・工芸品	鍍金鍬杖〈木瓜形四鍬付〉1枝	熱海市
59 重要文化財・工芸品	黒釉金彩瑞花文碗 1口	熱海市
60 重要文化財・工芸品	彩絵曲物筥 1合	熱海市
61 重要文化財・工芸品	白銅水瓶 1口	熱海市

国による指定

種別	文化財の名称・員数等	所在地
62 重要文化財・工芸品	雜伎彩繪唐櫃〈蓋欠〉1合	熱海市
63 重要文化財・工芸品	樵夫蒔絵硯箱 1合	熱海市
64 重要文化財・工芸品	山水蒔絵手箱 1合	熱海市
66 重要文化財・工芸品	十字卍字唐草螺鈿箱 1合	熱海市
67 重要文化財・工芸品	錦島色絵桃文大皿 1枚	熱海市
68 重要文化財・工芸品	伊万里染付花弁文徳利 1口	熱海市
69 重要文化財・工芸品	色絵金銀菱文茶碗〈仁清ノ〉1組	熱海市
70 重要文化財・工芸品	刺繍種子阿弥陀三尊図 1幅	熱海市
71 重要文化財・工芸品	色絵十二月和歌花鳥図角皿 尾形乾山作	熱海市
72 重要文化財・書跡	紺紙金泥般若心経〈後奈良天皇宸翰／伊豆国〉1巻	熱海市
73 重要文化財・書跡	紙本墨書梵瑠璃石墨蹟〈至正十三年冬〉1幅	熱海市
74 重要文化財・書跡	紙本墨書金光明最勝王経註釈 卷第二、第六断簡〈飯室切〉1巻	熱海市
75 重要文化財・書跡	紙本墨書方広寺大仏鐘銘 清韓筆 1幅	熱海市
76 重要文化財・書跡	法華経授記品卷第六〈裝飾経〉1巻	熱海市
77 重要文化財・書跡	仏鑑禪師墨蹟〈焔雲二大字ノ〉1幅	熱海市
78 重要文化財・書跡	古林清茂墨蹟〈送別偶ノ至治元年三月廿日〉1巻 附沢庵宗彭筆添状	熱海市
79 重要文化財・書跡	継色紙〈わたつみの〉1幅	熱海市
80 重要文化財・古文書	紙本墨書藤原俊成仮名消息〈紙背二願文アリ〉1幅	熱海市
81 重要文化財・考古資料	三角縁神獸鏡 3面	熱海市
82 重要文化財・考古資料	埴輪男子立像 1軀	熱海市
83 史跡	江戸城石垣石丁場跡	熱海市・伊東市
84 国宝・工芸	梅蒔絵手箱 1具	三島市
85 国宝・工芸	薙刀〈銘備前国長船住人長光造〉1口	三島市
86 重要文化財・建造物	三嶋大社本殿、幣殿ひ拝殿 1棟	三島市
87 国宝・絵画	絹本着色日蓮上人像 1幅	三島市
88 国宝・絵画	絹本着色巴干芥初請入曼荼羅図〈松受茶羅ノ〉1幅	三島市
89 重要文化財・彫刻	木造大日如来坐像 1軀	三島市
90 重要文化財・古文書	三嶋大社矢田部家文書 592通	三島市
91 重要文化財・工芸品	太刀〈銘宗忠ノ〉	三島市
92 重要文化財・工芸品	脇指〈銘相模国住秋義ノ伊豆三島大明神奉拜佐藤松千代貞成〉	三島市
93 重要文化財・工芸品	太刀〈銘長元ノ〉	三島市
94 重要文化財・工芸品	秋草文黒漆太刀〈中身銘豊後国行平作ノ〉	三島市
95 重要文化財・工芸品	刀〈朱銘義弘〈名物松井郷〉ノ本阿〈花押〉ノ〉	三島市
96 重要文化財・工芸品	短刀〈銘国光ノ〉	三島市
97 重要文化財・工芸品	刀〈金象嵌銘備前国兼光〈名物大兼光〉ノ本阿弥〈花押〉ノ〉	三島市
98 重要文化財・工芸品	刀〈無銘正宗ノ〉	三島市
99 重要文化財・書跡	撰時抄〈日蓮筆ノ〉 5巻	三島市
100 重要文化財・書跡	注法華経〈開結共ノ日蓮自注〉 10巻	三島市
101 重要文化財・書跡	般若心経〈源頼家筆〉 1巻	三島市
102 史跡	山中城跡	三島市・函南町
103 史跡	伊豆国分寺塔跡	三島市
104 史跡	箱根旧街道	三島市・函南町
105 重要文化財・彫刻	木造阿弥陀如来坐像	下田市
106 史跡	玉泉寺	下田市
107 史跡	了仙寺	下田市
108 史跡	神子元島燈台	下田市
109 重要文化財・彫刻	木造大日如来坐像 1軀	伊豆市
110 史跡	上白岩遺跡	伊豆市
111 国宝・彫刻	木造阿弥陀如来坐像 運慶作 1軀 木造不動明王及二童子立像 運慶作 3軀 木造毘沙門天立像 運慶作 1軀 附木造五輪塔形木札 四枚	伊豆の国市
112 重要文化財・建造物	江川家住宅	伊豆の国市
113 重要文化財・歴史資料	江川家関係写真	伊豆の国市
114 重要文化財・歴史資料	葦山代官江川家関係資料	伊豆の国市
115 重要有形民俗文化財	山木遺跡出土の生産・生活用具	伊豆の国市
116 史跡	葦山反射炉	伊豆の国市
117 史跡	願成就院跡	伊豆の国市
118 史跡	北江間横穴群	伊豆の国市
119 史跡	伝堀越御所跡	伊豆の国市
120 史跡	北条氏邸跡〈円成寺跡〉	伊豆の国市
121 史跡	葦山役所跡	伊豆の国市
122 重要文化財・建造物	天城山隧道	河津町
123 重要文化財・建造物	旧岩科学校校舎 1棟	松崎町
124 重要文化財・工芸品	松藤双鶴鏡 1面	松崎町
125 史跡	柏谷横穴群	函南町

伊豆半島ジオパークにおける文化遺産リスト

文化財指定による文化遺産リスト 県による指定

種別	文化財の名称、員数等	所在地
1 絵画	白隠自画像 1幅	沼津市
2 古文書	法門聴聞集 2巻 附 連々聴聞集 2巻、日弁消息 1幅、日意筆法門聴聞集表題並びに奥書 1幅	沼津市
3 考古資料	子持勾玉1個 附白玉三三四個、大白玉四個、丸玉二個、管玉二個、有孔円板三個、勾玉形板四個、剣形板二個、不整形板六個	沼津市
4 歴史資料	繡字法華経 1帖 附 1幅	沼津市
5 有形民俗文化財	大瀬神社奉納漁船模型 32隻	沼津市
6 有形民俗文化財	浮島沼周辺の農耕生産用具 28種106点	沼津市
7 無形民俗文化財	戸田の漁師踊・漁師唄	沼津市
8 無形民俗文化財	江浦の水祝儀	沼津市
9 史跡	白隠禪師墓 1基	沼津市
10 史跡	洋式帆船建造地 1カ所 及び艦長プチャーチン宿所 附関係遺品45点1括	沼津市
11 史跡	江浦横穴群	沼津市
12 史跡	井田松江古墳群23基	沼津市
13 史跡	長塚古墳 1基	沼津市
14 彫刻	銅造走湯権現立像 1軀	熱海市
15 書跡	紺紙金銀字交書佛説無所希望經 1巻	熱海市
16 考古資料	伊豆山経塚遺物 青銅製経筒十二基、土製経筒五基、銅製観音坐像1軀、青銅網地双鳥鏡1面、外に青銅鏡二面、白銅鏡1面、経筒に永久五年在銘のものあり 1括	熱海市
17 無形民俗文化財	来宮神社鹿島踊	熱海市
18 典籍	聚分韻略 1冊	三島市
19 典籍	日本書紀並びに具書 6巻6軸	三島市
20 無形民俗文化財	三島大社のお田打	三島市
21 無形民俗文化財	三島囃子	三島市
22 史跡	向山古墳群 1	三島市
23 建造物	八幡宮来宮神社 本殿、渡殿及び拝殿 2棟 附棟札 5枚	伊東市
24 無形民俗文化財	新井の大祭り諸行事	伊東市
25 建造物	河内の宝篋印塔	下田市
26 工芸品	鰐口 応永三十年の陰刻銘あり	下田市
27 工芸品	鰐口 応永二十八年の陰刻銘あり	下田市
28 史跡	吉田松陰寓寄処	下田市
29 建造物	修善寺ハリストス正教会顕栄聖堂（棟附顕栄会聖堂建築費1冊・修善寺教会記録1冊）	伊豆市
30 彫刻	木造釈迦如来坐像 1軀	伊豆市
31 典籍	宋版放光般若經 卷二十三 為源頼家菩薩尼置之の奥書がある 1巻	伊豆市
32 考古資料	善願上人蔵骨器 1合	伊豆市
33 建造物	旧上野家住宅 1棟	伊豆の国市
34 彫刻	木造阿弥陀如来坐像 1軀	伊豆の国市
35 彫刻	木造阿弥陀如来坐像 1軀	伊豆の国市
36 彫刻	木造観音菩薩坐像 1軀	伊豆の国市
37 彫刻	木造地藏菩薩坐像 1軀	伊豆の国市
38 工芸品	牡丹鳥獸文繡帳 3帳	伊豆の国市
39 書跡	紺紙金字法華経 10巻	伊豆の国市
40 無形民俗文化財	大鍋子守神社の神楽	河津町
41 工芸品	鰐口 1口	南伊豆町
42 工芸品	梵鐘1口	南伊豆町
43 書跡	大般若経 500巻	南伊豆町
44 無形民俗文化財	妻良のぼんおどり	南伊豆町
45 無形民俗文化財	小稲の虎舞（竜虎の舞）	南伊豆町
46 建造物	依田家住宅主屋、離れ、道具蔵、米蔵、味噌蔵 5棟	松崎町
47 絵画	浄感寺本堂天井画及び壁画 3面 附 棟札箱 1点 弘化二年乙巳歳十二月十五日の年記がある 板札 1枚 弘化四丁未歳三月中旬の年記がある	松崎町
48 彫刻	木造阿弥陀如来坐像及両脇侍像並に毘沙門天立像 4軀	松崎町
49 彫刻	木造釈迦如来坐像・木造阿弥陀如来坐像・木造薬師如来坐像 3軀	西伊豆町
50 無形民俗文化財	人形三番叟	西伊豆町
51 無形民俗文化財	仁科の人形三番叟	西伊豆町
52 無形民俗文化財	海名野神明神社の人形三番叟	西伊豆町
53 彫刻	木造薬師如来坐像 1軀	函南町
54 彫刻	木造十二神将立像 12軀	函南町
55 彫刻	木造毘沙門天立像 1軀	函南町
56 彫刻	木造聖観音立像・木造地藏菩薩立像 2軀	函南町

伊豆半島ユネスコ世界ジオパーク
基本計画・行動計画 2021-2025
【別冊：資料編】

2021年（令和3年）7月31日

伊豆半島ジオパーク推進協議会事務局
静岡県伊豆市修善寺 838-1
電話 0558(73)2255



unesco

Global Geopark



伊豆半島ジオパーク
IZU PENINSULA GEOPARK

